

大分市の人団	
人口	昭和47年5月31日現在
男	283,231人 (+1047)
女	137,106人 (+563)
世帯数	146,125人 (+484)
	83,917世帯 (+452)

毎月1日・15日発行

おおいた 市報

第624号

昭和47年

7月1日

発行所
大分市役所

編集兼発行人
大分市役所代表者
橋本文治

印刷所 三恵印刷株式会社

(全世帯無料配布)

市議会第二回定例会

高崎山 市内の小学生は無料に 明治・敷戸小の増改築等もきまる

第二回市議会定例会が六月九日から十七日まで開かれました。この議会で審議されたおもな議案は次のとおりです。

予算議案

万三千円を追加しました。

▽大分市高崎山世界鳥類館条例

世界の鳥類のはく製を展示し、

公開する世界鳥類館「フォーナラ

ンド」は七月三十日開館されます。

▽大分市高崎山自然動物園健全な運営

高崎山自然動物園の健全な運営

年五十円、青少年以外の者百円とな

っています。

▽国立公園高崎山自然動物園入園

これによると一般入園料で一人

百円未満の助成金についても支

給することにしました。

▽その他継続審議となっていた、

市街化区域内農地の宅地並み課税

受給対象者は今まで三ヵ月以上

ませんでしたが、これを廃止しま

した。また從来支給していなかっ

たが、これを廃止しま

市内七農協が合併

大分市 組合七月に発足

経営基盤の強化を図る



市では市内七農協の合併を四五五年から推進してきましたが、このほど農協合併の調印式が大分文化会館で行なわれ、合併日を六月三十日とし、名称を大分市農業協同組合と決め七月一日からスタートしました。この農協合併は都市化が進むなかで農地の宅地転用、労働力の流失などで農業経営は転換期を迎えており情勢にあるため、市では市

内の大分、滝尾、鶴崎、種田、大南、大在、坂ノ市の七農協を合併して経営基盤などの拡充強化を図ることで行なわれたものです。

新農協は七月一日から当分の間本所を大分農協(未広丁目)

に設け、旧滝尾、旧鶴崎などの農

協は新農協の支所として発足し、これまでより旧農協ごとに預金購販売活動を行なうことになって

九州では最大の規模となります。

また、全国的にも組合員数について見ると姫路、福山農協となり五名のマンモス街地農協となり

規模のものです。

新農協は七月一日から当分の間本所を大分農協(未広丁目)

に設け、旧滝尾、旧鶴崎などの農

協は新農協の支所として発足し、これまでより旧農協ごとに預金

購販売活動を行なうことになっ

て

規格

規格